



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



Itoigawa  
UNESCO  
Global Geopark

# 糸魚川ジオパークだより



今月は、海谷高地や駒ヶ岳<sup>さんきょう</sup>、三峽パーク、羅漢和尚<sup>らんおしょう</sup>の史跡<sup>しせき</sup>など海谷溪谷ジオサイトの見どころを生かし、地域活性化に取り組んでいる西海地区公民館の皆さんにインタビューしました。



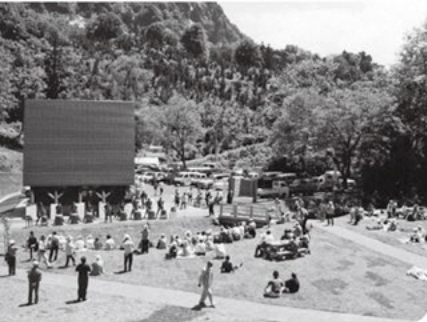
みんなで盛りあげる

## 海谷まつり

持続可能な地域づくり  
||  
ジオパーク活動です!



くびき 頸城の山々をバックに、左から公民館職員の小林あゆみさん、ふるさとウォーキングのガイドを務める関澤信幸さん、公民館長の古畑伸一さん。



西海地区公民館では、自治会や地元団体とともに実行委員会を組織し、春と秋に「海谷まつり」を開いています。海谷三峽パークができてから約20年にわたり、学校も含め地域全体で協力しながら続けてきました。昨年は、水保神楽の披露や西海小学校の5年生が地元産の新米で作った「西海自然おにぎり」の販売がとても好評でしたね。

住民から西海地区を知ってもらおうと企画した「ふるさとウォーキング」では、羅漢和尚が建立した粟島<sup>あわしま</sup>さんなどを訪ねました。また、ジオサイトを訪ねる「ジオパークめぐり」も開催しています。



### ~私たちの地域づくり~ ここがポイント!



西海地区では少子高齢化が進み、将来を担う人材の育成が課題となっています。これからも、住民が主役となって持続可能な地域づくりを進めていけるように、心がけているポイントを紹介합니다。



春の海谷まつり「みどりの学校」

#### POINT 1 子どもと一緒に

参加した子どもたちは地域への関心が高まり、イベントも盛りあがります。保護者も含め、若い世代に郷土を愛する心がはぐくまれます。



ふるさとウォーキングで羅漢和尚のお墓へ

#### POINT 2 地域資源の活用

西海地区には、豊かな自然をはじめ、羅漢和尚の伝説、寺社や石仏、四季の景観など見どころがたくさんあります。これらを活用して観光客を呼ぶことができれば、地域の活性化につながると考えています。



イベントで、小学生による「西海自然おにぎり」販売

#### POINT 3 未来へつなぐ

地域資源や知識は、未来へ受け継がなければならないと考え、文化遺産の調査や資料集『ふるさとの温もり』の編集に関わっています。

問合せ 交流観光課 ジオパーク推進室 ☎552-1511